



施策 地域福祉

目指す
状態

誰もが地域の中に居場所があり、社会から孤立することなく、

生きがいを持って安心して暮らせるまちを目指します。

地域全体の多様な主体との関わりの中で、支え合う「地域共生社会」を実現するまちを目指します。

1 施策の現状と課題

- 近年の核家族化や一人暮らしの増加、近隣関係の希薄化が進んでいることなどから、地域・家庭・職場という人々の生活領域における支え合いの基盤が弱まってきています。
- ひきこもり状態の長期化等による8050問題や、介護と育児を同時に担うダブルケアの問題など、地域における生活課題は多様化・複雑化し、福祉ニーズが拡大しています。
- 福祉ニーズが拡大する一方で、担い手不足が顕在化しています。多様化・複雑化している課題には、分野ごとの縦割りや「受け手」、「支え手」の関係を越え、多様な主体による連携を図りながら一人ひとりに寄り添った支援を行っていく必要があります。

2 施策の現状と課題

- 本市では、市内に「地域生活支援拠点」を4か所整備し、障害者の暮らしの支援に取り組む「かしわネットワーク」を構築し、その他の地域資源と連携・協力しながら包括的な支援に取り組んでいます。
- 今後も障害者手帳取得者は増加する見込みの中、複雑化・複合化した課題を持つかたや、障害者手帳の取得には至っていないかたへの支援なども、引き続き対応が必要な課題となっています。
- 障害者自らの決定に基づき、社会のあらゆる活動に参加し、その能力を最大限発揮して自己表現ができるよう支援することが求められています。

● 主な関連部門計画

● 第5期柏市地域健康福祉計画

● 第2次柏市自殺対策計画



施策の方向性 重層的支援体制整備事業の推進

多機関・多業種と連携を図り、一人ひとりが抱える課題に寄り添い伴走しながら、包括的な相談支援やアウトリーチ等による継続的支援、世代や属性を超えた交流の場づくりなど、相談から課題解決のための検討、社会参加等の出口支援を含めた体制づくりに取り組みます。

施策の方向性 ノーマライゼーション社会の実現

障害の有無にかかわらず、誰もが社会の一員として一人ひとりが持つ個性が尊重され、地域の理解と特性に応じた支援を得ながら、その人らしく安心して暮らせる地域づくりに取り組みます。

● ノーマライゼーションかしわプラン2024